

【広報PR】

◆各種現場見学ツアー

- ・学生を対象とした現場見学会の実施
 - ①北海学園大学：9/16、17名参加
 - ②北海道科学大学：9/22、37名参加
 - ③札幌工業高校：10/21、54名参加
- ・土木施設めぐり女子ツアーの実施
実施日：11/5、参加人数：7名
- ・各工事における現場見学会の実施
- ・各部署における事業紹介イベント等の実施



札幌工業高校現場見学（橋梁工事）

◆体験型イベントの参加・実施

- ・高校生の職業体験イベント「ジモトのシゴトワク！WORK！」に出展(9/13-15)
- ・小学生を対象とした体験イベント「建設のおしごと体験」の実施(12/17・18)
- ・建設産業ふれあい展の北海道との共同開催(1/7・8)



3日間で
約6,800人来場

ジモトのシゴトワク！WORK！



2日間で
約2,200人来場

建設のおしごと体験（会場：札幌ランラ）

◆PR広告

- ・地下歩行空間(チカホ)の壁面に建設産業PRポスターを掲示(1/23-2/5)
- ・学生の意見を取り入れた動画を作成・配信（3/13～）



通行者
1日約13万人

チカホ壁面広告



3つのメディアで
約160万回表示

YouTube、Twitter、Instagram広告

【助成金制度等による企業支援】

◆各種助成金制度

- ・R3.9にICT導入を支援する新メニューを開始
- ・協議会や企業アンケート等とおして、制度のPRを実施
- ・R4年度の利用件数は、前年度と比べて増加

表：助成制度の利用実績

助成メニュー	助成額	R2	R3	R4
女性労働環境整備	最大50万円	15	14	11
女性装備品購入	最大3万円	10	9	11
インターン受入	2日7万円、 3日以上10万円	30	30	32
除雪作業免許取得	最大4万円	16	26	46
札幌QMS取得	最大25万円	1	4	3
ICT施工	施工50万円、 研修3万円・ 6万円	-	8	8
合計	-	72	91	111

※R4年度は、2/28時点の実績



助成制度のチラシ

◆ワーク・ライフ・バランスplus企業認証

- ・札幌市では、ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍に積極的に取り組む企業を「認証」し、その取組を一層推進するためのさまざまな支援を行っている。（認証制度の建設業の登録企業数259社、R4新規：16社 ※R5.2.28時点）

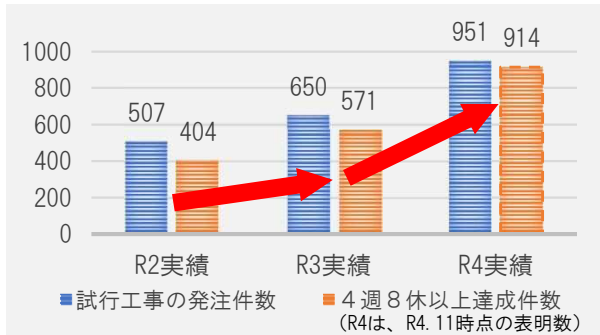
支援内容	概要
札幌市との契約上の優遇（ステップ1以上）	札幌市競争入札参加資格者名簿に登録のある認証企業に対し、札幌市の工事契約上の優遇制度を設けています。
育児休業等助成金（ステップ1以上）	初めて育児休業を取得した男性従業員がでた認証企業など、一定の条件を満たした場合に助成金を支給しています。
融資制度（ステップ2以上）	認証を取得した中小企業は、札幌市中小企業融資制度の「札幌みらい資金」を利用することができます。



【働き方改革】

◆休日確保

- 市発注工事における週休2日試行工事の件数は、前年度（R3）と比べ大きく増加
- 国交省では、完全週休2日の実現に向け、「毎週土日の現場閉所の試行」や「統一現場閉所の月1回から月2回への拡大」を推進



週休2日施行工事の発注件数（単位：件）



統一土曜閉所の周知ポスター

◆工事における施工時期の平準化

- 早期発注の適用割合は、前年度（R3）と比べて増加しており、余裕期間制度は前年度（R3）と同程度の割合

取組項目	R2実績	R3実績	R4実績
早期発注（契約工期の始期が4～6月）	561/1,251 (44.8%)	624/1,101 (56.7%)	695/1,130 (61.5%)
余裕期間制度（フレックス方式）	164/1,251 (13.1%)	262/1,101 (23.8%)	271/1,130 (24.0%)

◆業務における履行期限の平準化

- 各部署の状況に応じて、年度を跨いだ履行期限を設定した業務発注等を実施
- 土木部所管業務における、発注実績（年度跨ぎの履行期限設定）は、R2：4件、R3：6件、R4：7件

◆業務等の効率化

- 各部署において、工事及び業務における「ウィークリースタンス」や「ワンデーレスポンス」の考え方を整理し、発注担当者など関係者への周知

【生産性向上】

◆ICT活用工事の発注

- 市発注工事において、施工条件や施工規模等からICT施工（土工、舗装工、地盤改良工）の適用性が高い工事を選定し、ICT活用工事（受注者希望型）を発注

※現時点の工種は、ICT土工、ICT地盤改良工、ICT舗装工、ICT舗装工（修繕工）

表：ICT活用工事の発注件数（単位：件）

取組項目	実績		
	R2	R3	R4
ICT活用工事※の発注件数	15	26	30

◆遠隔臨場対象工事の発注

- 遠隔臨場対象工事は、前年度（R3）と比べ同程度の件数を発注〔R3実績783件、R4実績：777件〕



遠隔臨場の実施状況

◆ICT研修会の実施

- 市発注工事におけるICT活用を促進するため、新たに市職員を対象とした「ICT研修」を実施



ICT研修会（座学）

◆発注工事におけるASPの活用

- 受注者の提案に応じて、一部工事でASP（工事情報共有システム）を試行導入

◆除排雪作業の効率化・省力化に向けたICTの活用

- バックカメラやセンサー等を設置した一人乗り除雪機械の導入（延べ69台）
- 提出書類の電子化や運行管理の最適化に向けた除雪機械へのGPS端末設置（延べ810台）



一人乗り除雪グレーダー

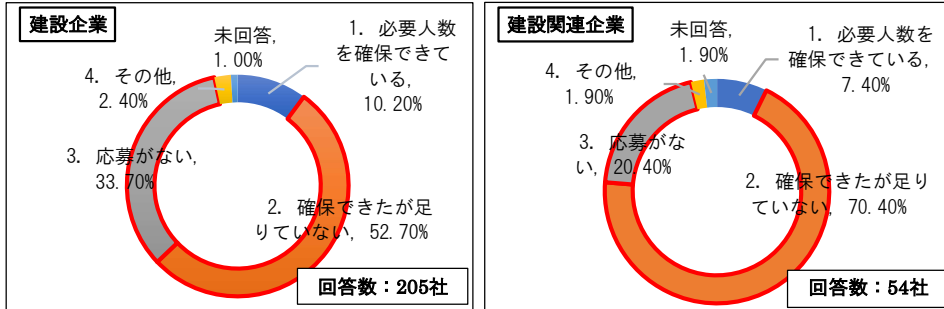


バックモニター

【担い手確保に関する現状】

◆市内企業の人材確保状況

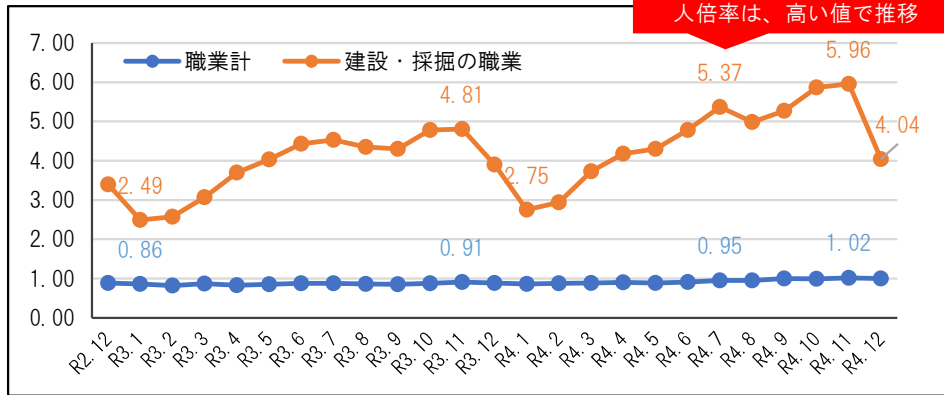
- 市内企業は人材募集を行っているが、「必要人数を確保できている」割合は1割程度であり、多くの企業が必要な人材を確保できていない



図：令和3年度の募集結果① (R4年度企業アンケート)

図：令和3年度の募集結果② (R4年度企業アンケート)

- R2.12以降の「札幌圏の建設・採掘の職業」の有効求人倍率は、最小で2.49倍、最大5.96倍と高い値で推移



図：札幌圏の職業別有効求人倍率 (北海道労働局の公表データから作成)
※上記データは、ハローワーク札幌、札幌東、札幌北の管理区域を合わせた結果

◆専門課程を選択する学生数

- 市内の工業高校の学生数は、年々減少しており、市内企業においては、「専攻分野を限定しない新卒者」を採用する企業もいる。

年度	生徒数 (人)	
	札幌工業高校	琴似工業高校
H21	1,127	1,095
H25	1,096	1,094
H29	1,059	1,025
R3	970	932

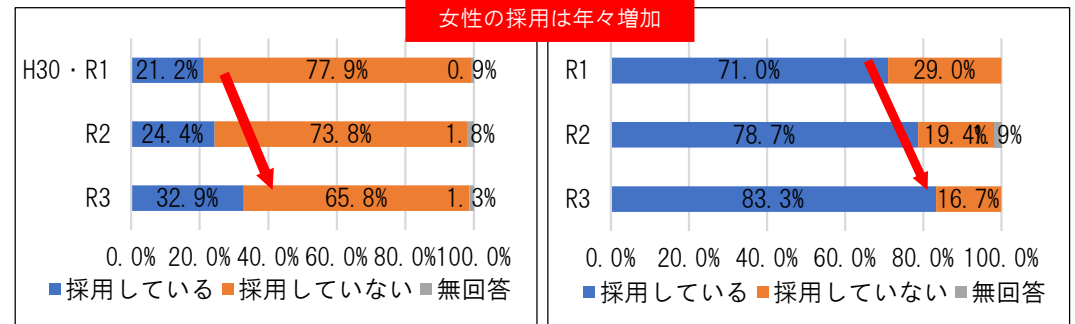
表：市内工業高校の生徒数 (北海道のオープンデータを利用して札幌市で作成)

選択項目	建設企業 回答数：242社		建設関連企業 回答数：61社	
		人数	割合	人数
1. 専門課程を専攻した新卒者	90	37.1%	42	68.8%
2. 専攻分野を限定しない新卒者	65	26.8%	17	27.8%
3. 自社と同業種の経験者	155	64.0%	50	81.9%
4. 建設業の他業種の経験者	47	19.4%	17	27.8%
5. その他	3	1.2%	2	3.2%
6. 特に経歴を求めない	61	25.2%	4	6.5%

表：採用時に求める経歴 (R4年度企業アンケート)

◆女性従事者の採用状況

- 市内企業では女性技術者の採用割合が年々増加しており、R3年度時点の採用割合は、建設企業で3割、建設関連企業で8割程度



図：女性技術者の採用状況 (建設企業)
※R1(H30)-R3年度の企業アンケート

図：女性技術者の採用状況 (建設関連企業)

今後の課題

- 各企業が必要な人材を確保できるようにするため、引き続き「建設産業の魅力伝える広報PR」や「女性や若者が働きやすい環境の整備」を推進するとともに、「入職者への育成支援の充実」を図ることが必要

【働き方改革に関する現状】

◆週休2日の確保

- ・R3年度の市発注工事における週休2日試行は、アンケート（工事管理室が実施）に協力した46件全てが「4週8休」を達成
- ・一方で、計画的な休日取得ができなかった工事も2割程度ある

回答項目	回答数
1. 実施し、4週8休を履行できた	46
2. 実施したが、4週8休を履行できなかった	0
3. 実施しなかった	0
4. その他	0

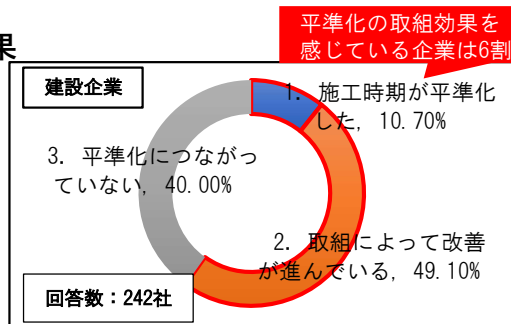
表：週休2日の履行状況（単位：件）

回答項目	回答数
1. 計画的に取得できた	37
2. 工期延長により計画的に取得できなかった	1
3. やむを得ない事由により、予定外の休工日を振替休日とした	8
4. その他	0

表：休日の取得状況（単位：件）

◆施工時期の平準化に関する取組効果

- ・R4年度の企業アンケートでは、「施工時期が平準化した」もしくは「改善が進んでいる」と回答した割合が、合わせて6割となっており、一定の効果が現れてきている
- ・一方で、「平準化につながっていない」と回答した企業は4割いることから、さらなる改善も必要



図：平準化の取組効果（R4年度企業アンケート）

◆時間外労働の上限規制への対応

- ・建設事業に対する時間外労働の上限規制の適用がR6年4月に迫っており、早急な対応が必要

※設計コンサルタントや測量企業は既に適用開始

今後の課題

- ・時間外労働の上限規制への対応に向け、週休2日確保や施工時期の平準化など「働き方改革」に資する取組をより一層推進することが必要

【生産性向上に関する現状】

◆生産性向上に関する各企業の意識

- ・R4年度の企業アンケートでは、生産性向上に向けて今後必要と考える取組について、「自社職員の能力向上（育成）」を選択した割合が最も多く、提出書類の簡素化やウェブ会議の活用を選択する企業が多い

回答内容（建設企業）	件数	比率
1. ICT施工の活用	71	29.3%
2. BIM/CIMの活用	44	18.1%
3. プレキャスト製品の活用	29	11.9%
4. 遠隔現場の活用	60	24.7%
5. 工事における施工協議等の円滑化	114	47.1%
6. ASP※1の活用	44	18.1%
7. 提出書類の簡素化	168	69.4%
8. 自社職員の能力向上（育成）	184	76.0%
9. その他	8	3.3%
10. 特に考えていない	11	4.5%

表：今後必要と考える生産性向上に関する取組

回答内容（建設関連企業）	件数	比率
1. ICTの導入	28	45.9%
2. BIM/CIMの活用	34	55.7%
3. テレワークの導入	32	52.4%
4. ウェブ会議システムの活用	43	70.4%
5. 業務における施工協議等の円滑化	18	29.5%
6. 自社職員の能力向上（育成）	54	88.5%
7. その他	2	3.2%
8. 特に考えていない	0	0.0%

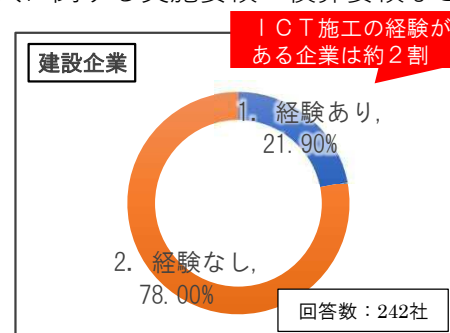
表：今後必要と考える生産性向上に関する取組

※1 工事情報共有システム

※2 左右共に、R4年度企業アンケートの結果

◆ICTの導入状況

- ・市内企業では、ICT施工を経験したことがある企業が2割程度と低い
- ・国では、ICT施工の導入拡大に向け、小規模な工事におけるICT機器の導入に関する実施要領・積算要領などを作成・公表



図：ICT施工の経験（R4年度企業アンケート）



図：汎用測量機器を活用した小型ICT建機

今後の課題

- ・生産性向上に向け、「ICTの導入拡大」や「建設分野におけるDX活用の検討」などを進めることが必要

令和 5 年度の重点施策（案）と取組予定

重点施策Ⅰ：建設産業の魅力を伝える「PR事業」の推進

Point：体験型の広報に加え、学生の注目度が高いSNS等を活用した広報を推進

- ・ インターンシップや現場見学会など体験型広報の実施【市、業界、企業】
- ・ ホームページやSNSの活用による情報発信の充実【市、業界、企業】
- ・ 市内企業の魅力発信につながる広報の検討【推進協議会】

重点施策Ⅱ：担い手の確保・定着に向けた「環境整備」の推進

Point：担い手確保に向け、女性や若者が入職・定着しやすい環境の整備を推進

- ・ 就業者の福利厚生の実施やワークライフバランス確保等の推進【業界、企業】
- ・ 女性にとっても働きやすい環境づくりの推進【業界、企業】
- ・ 若手従事者に対する育成支援の実施【業界、企業】
- ・ 企業のニーズに合わせた助成金制度の見直しを検討【市】

重点施策Ⅲ：時間外労働の縮減に向けた「働き方改革」の推進

Point：週休2日確保や施工時期の平準化など「働き方改革」に資する取組をより一層推進

- ・ 受発注者双方の労働環境改善に関する意識共有の推進【市、企業】
- ・ 受注工事・業務における週休2日の確保の推進【企業】
- ・ 発注工事・業務における週休2日の確保及び施工時期の平準化の推進【市】
- ・ 完全週休2日の実現に向けた段階的な目標設定の検討【推進協議会】

重点施策Ⅳ：生産性向上に向けた「建設DX」の推進

Point：生産性向上に向け、ICTの導入拡大や建設DXに対応できる人材の育成を推進

- ・ 工事におけるICT活用の拡大【市、企業】
- ・ ICTに関する知識を学べる研修会等の実施【市、業界、企業】
- ・ 業務の効率化に向けたデジタル技術の活用を検討【市、業界、企業】

(参考)

令和4年度の重点施策と取組予定

重点施策Ⅰ：業界団体や企業による担い手の確保

Point：採用の強化とともに、若年層の離職防止につながる取組を推進

- ・ PRに繋がる処遇改善の取組や、就業環境の整備として、福利厚生の実施やワークライフバランスの確保を進めていく【業界、企業】
- ・ 人材育成として、資格取得支援等の取組を継続していく【業界、企業】
- ・ 技能労働者の処遇改善として、建設キャリアアップシステム導入へ向けた検討をする【業界、企業】

重点施策Ⅱ：働き方改革の推進

Point：週休2日制の導入拡大など、今後も働き方改革を推進

- ・ 建設産業の魅力向上のため、完全週休2日を目指し、業務の遂行に配慮しつつ段階的な導入や課題解決に取り組んでいく【業界、企業】
- ・ 週休2日試行工事の発注を拡大し、企業の働き方改革の推進を支援していく【市】
- ・ 工事発注時期の平準化や、業務履行期限の分散化などの取組を拡大していく【市】

重点施策Ⅲ：建設産業の魅力向上とPR事業の推進

Point：情報発信量を拡大するとともに、その内容の充実や質の向上を図る

- ・ 建設産業の魅力を的確に伝えるため、PRパンフレット作成の継続【推進協議会】
- ・ 市民理解醸成のため多様な手法を活用した効果的なPRを展開【推進協議会】
- ・ 入職促進のため、インターンシップ等の継続、HP等の開設拡大【業界、企業】

重点施策Ⅳ：市による企業や業界団体への支援

Point：助成事業の継続と、入職促進や離職防止につながる新たな支援を実施

- ・ 若年層の離職を防止するため、企業の枠を越えた若者、女性の活動に対する支援【市、業界、企業】
- ・ ホームページ開設や内容の充実に関するセミナーの開催【市】

令和 5 年度の取組予定に関する 各業界団体への照会結果

令和 4 年度

第 2 回さっぽろ建設産業活性化推進協議会

- ・本資料は、照会時点での令和 4 年度の実績及び令和 5 年度の取組予定をまとめさせていただいておりますので、その後の新たな情報については、随時更新いたします。

【報告 1】 ホームページの活用等による情報発信体制の充実

◆活性化プランの記載内容（1-1-3）

業界団体、企業からの積極的な情報発信が建設産業や各企業に対する理解促進につながることから、業界団体、企業のホームページ・SNS等の開設拡大・内容充実を図ることにより、情報発信の強化を目指します。

1. 令和4年度の実績（情報発信体制の充実）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> 制作したPRマンガや動画を活用し、情報発信の充実を図る（団体） PR動画をYoutubeに掲載し、業界情報の発信（団体）
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> 従来はPC用専用のホームページであったが、今年からスマホ専用画面の追加を検討（会員企業） 工事の掲示板にQRコードを埋め込みPRにあたる予定。（会員企業） YouTubeで人材募集等の広告を行っている（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月にリニューアルしたホームページを活用し、学生向けの記事内容の発信に配慮しながら、情報発信体制の充実を図る（協会、会員企業）
4	(一社)北海道舗装事業協会	<ul style="list-style-type: none"> HPに求職者や一般向けコンテンツを拡充（団体） 会員企業の採用情報へのリンクを地域別に分けて探しやすくした（団体）
5	札幌市除雪事業協会	<ul style="list-style-type: none"> R4.2.1ホームページ開設・R4継続（団体）
6	(一社)札幌電設業協会	会員企業によるホームページやSNSを活用した取組 <ul style="list-style-type: none"> ホームページの継続更新 ホームページに工事実績や現場の写真を掲載 会社紹介動画のリンク貼付け（YouTube） 企業情報の公開や採用情報の発信
7	札幌環境維持管理協会	<ul style="list-style-type: none"> 昨年開設したHPをより充実させ、業界団体としての情報発信はもとより会員間の情報交換に役立てていく（団体）
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> HPで協会各会員の事業紹介を更新（団体） 10月18日に「造園技術講演会」を、年明け3月17日に「植生技術講演会」を開催（団体） 植生施工管理技士資格研修会（試験による資格認定）（団体）→ コロナ禍で中止、更新手続のみ 北海道緑の景観フォトコンテスト・街路樹編（団体） 北造協ニュース発刊と掲載（月1回）（団体） 広報誌みどりの発刊と掲載（年2回、夏号と冬号）（団体）
9	札幌塗装工業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> 若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を実施（団体） 既成の塗装PR誌と各組合員の求人を合体させた組合求人誌を作成（団体及び会員企業） 札幌商工会議所の企画による任期制自衛官向け業界研修に参加（島松駐屯地、真駒内駐屯地、東千歳駐屯地）（組合求人誌を活用 団体） 札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加（団体及び会員企業） <p>①インターンシップ（札幌南陵高校、札幌新陽高校、琴似工業高校受入れ） ②就職情報交換会（札幌北高校定時制、札幌工業高校、札幌琴似工業高校と就職情報交換）北海道高等学校長協会と就職指導に関する意見交換会 ③出張型企業説明会（出張お仕事体験会市立明園中学校2年生110名、市立手稲西中学校1,2年生90名）</p>

10	札幌市管工事業協同組合	・YouTube で札幌協のPR映像を11月～2月の期間で広告配信（団体）
11	札幌管和会	・会員企業で取組む予定
12	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・空調衛生設備が脱炭素社会づくりに果たす役割の広報記事を掲載（団体）
13	(一社)建設コンサルタント協会	・支部ホームページのリニューアルを実施（団体）
14	札幌市測友会	・令和4年9月より、当会ホームページを開設 (https://sokuyukai.jp/) 当会の設立概要を紹介し、適宜、イベント毎に活動内容を更新
15	(一社)北海道設備設計事務所協会	・会員のHP開設を推進（団体） ・今後のIT化にむけてデジタル委員会の推進（団体）

2. 令和5年度取組予定（情報発信体制の充実）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	・制作したPRマンガ、YouTube に掲載したPR動画等を活用し、情報発信を行う（団体）
2	札幌市土木事業協会	・従来はPC用専用のホームページであったが、今年からスマホ専用画面の追加を検討している（会員企業） ・工事の掲示板にQRコードを埋め込みPRにあたる予定～継続（会員企業） ・YouTube で人材募集等の広告を行っている～継続（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	・令和4年にリニューアルしたホームページを活用し、学生向けの記事内容の発信に配慮しながら、情報発信体制の充実に取組む予定（協会及び会員企業）
4	(一社)北海道舗装事業協会	・HPに求職者や一般向けコンテンツを拡充（団体）
5	札幌舗会	・会員企業の情報発信推進（ホームページ開設等）に向けた取組み
6	札幌市除雪事業協会	・R4.2.1に開設したホームページを継続
7	(一社)札幌電設業協会	会員企業によるホームページやSNSを活用した取組 ・インスタグラム、フェイスブック、公式ラインの活用 ・ホームページに先輩社員の声を掲載（随時更新） ・学生に向けてスマホで閲覧しやすいデザインに変更予定 ・社内での行事・取組等を積極的に配信予定
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会	・HPで協会各会員の事業紹介を更新（団体） ・10月に「造園技術講演会」、3月に「植生技術講演会」を開催予定（団体） ・植生施工管理技士資格研修会（試験による資格認定）を実施予定（団体） ・北海道緑の景観フォトコンテスト・街路樹編を実施予定（団体） ・毎月1回、北造協ニュース発刊とHP掲載（団体） ・年2回、広報誌みどりの発刊とHP掲載（団体）
9	札幌塗装工業協同組合	・若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を実施（団体） ・既成の塗装PR誌と各組合員の求人を合体させた組合求人誌を作成（団体及び会員企業） ・札幌商工会議所の企画による任期制自衛官向け業界研修に参加（組合求人誌を活用。団体） ・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加（団体及び会員企業） ①インターンシップ ②就職情報交換会 ③出張型企業説明会

10	札幌市管工事業協同組合	・YouTube で札幌協のPR映像を11月～2月の期間で広告配信予定（団体）
11	札幌管和会	・会員企業で取組予定
12	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・ホームページの記載内容を最新の情報にするため適時更新するよう取り組む予定（団体）
13	札幌市測友会	・ホームページでの活動内容を更新し、会員を含め、広く業界のPRを実施
14	(一社)北海道設備設計事務所 協会	・会員のHP開設を推進（団体） ・今後のIT化にむけてデジタル委員会の推進（団体）

【報告 2】女性の活動団体との連携強化

◆活性化プランの記載内容（1-2-2）

建設産業に関わる女性主体で構成される活動団体との連携強化により、企業の枠を超えて女性の技術者等が集まり、交流・研修・PR等に精力的に取り組むことで、建設分野における女性活躍を推進するとともに団体の活動に対する支援策を検討します。

1. 令和4年度の実績（女性の活動団体との連携強化）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	・札幌市主催の「土木施設めぐり女子ツアー」に協力
2	札幌市土木事業協会	・求人採用範囲を未経験者からとして広げて、女性の採用を促進する予定(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・女性技術者の「どさん娘の会」所属を継続する(会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・会員企業へのアンケート調査を実施し、女性技術者数などの実態を把握(団体)
5	(一社)札幌電設業協会	会員企業による取組 ・ホームページに女性が安心して働ける職場であることを紹介 ・女性活躍推進の観点から、至近は女性技術職の採用を進めている ・産休・育休取得の実績
6	(一社)北海道造園緑化建設業協会	・当協会の会員企業に所属する女性職員で組織する「緑麗会」により、札幌市の大通花壇造成事業に参加し、緑麗会会員がデザインした「春花壇」と「夏花壇」を造成(団体)
7	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・設備女子会入会促進に努めた(団体)
8	(一社)北海道設備設計事務所協会	・建設どさん娘の会や緑麗会との交流 ・建築設備技術者協会設備女子会総会後の講演会及び交流会への参加 ・建築設備技術者協会主催札幌市発注現場見学会への参加 ・他協会主催の見学会・講演会・セミナーへの参加

2. 令和5年度の取組予定（女性の活動団体との連携強化）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	（一社）札幌建設業協会	・札幌市主催の「土木施設めぐり女子ツアー」に協力予定。
2	札幌市土木事業協会	・求人採用範囲を未経験者からとして広げて、女性の採用を促進する予定。～継続（会員企業）
3	（一社）札幌中小建設業協会	・女性技術者の「どさん娘の会」所属を継続する予定。（会員企業）
4	（一社）北海道舗装事業協会	・アンケート調査に基づく女性技術者数などの実態を情報共有。情報発信（団体）
5	（一社）札幌電設業協会	会員企業による取組 ・全日電工連女性部会員と情報交換・交流を図る予定 ・各学校との情報連携を進める予定 ・産休・育休取得が対象となる従業員への支援
6	（一社）北海道造園緑化建設業協会	・当協会の会員企業に所属する女性職員で組織する「緑麗会」により、札幌市の大通花壇造成事業に参加し、緑麗会会員がデザインする「春花壇」と「夏花壇」の造成に取り組む。（団体）
7	（一社）札幌空調衛生工事業協会	・設備女子会への入会促進を継続して取組むほか、コロナ禍で実施できなかった会員間の交流・研修の支援に取り組む予定。（団体）
8	（一社）北海道設備設計事務所協会	・他協会女子会との交流 ・他協会主催の見学会・講演会・セミナー・交流会への参加

◆補足情報

<土木施設めぐり女子ツアー（札幌市主催）>

市内の土木系学科に所属する女子学生を対象に、現場見学や女性就業者との交流を通じて、建設産業の魅力を伝えるとともに、現場で働くイメージをつかんでもらうことを目的とした取組。

<建設どさん娘の会>

建設業で働く女性技術者・技能者の活躍に資することを目的に、建設業全般をテーマとした勉強会等を行う、道内の建設会社やコンサルタント、学校関係に従事する女性職員等で構成された組織。

<緑麗会（北海道造園緑化建設業協会）>

（一社）北海道造園緑化建設業協会の委員会構成として、札幌市大通花壇造成事業に参加する等の活動を行っている組織。

<設備女子会（建築設備技術者協会）>

女性設備技術者の情報交換・発信の場を設けることにより、活躍の場を広げ、一層社会に貢献していくことを目的に、交流会や現場見学会を行っている組織。

<設備工事部会建設関連女子会（札幌商工会議所）>

札幌市内の建設関連企業に勤める女性社員を対象に、交流会や現場見学会を行っている組織。

【報告3】週休2日及び年間トータルでの休暇取得の推進

◆活性化プランの記載内容（2-1-1）

[受注者の取組]

- ① 働き方改革の実現のため、週休2日の導入等に積極的に取り組みます。
- ② 週休2日の導入と併せて、関連する次の取組についても最大限考慮します。
 - ・下請契約の締結等は、国の通知に基づき適正に実施します。【施策5-4-1】
 - ・下請企業においても、月給制の導入を考慮するなど、労働者の週休2日の希望に応えることのできる労働環境の確保を目指します。

◆活性化プランの記載内容（2-5-1）

- ・工事や業務の受注者においても、工事や業務の規模、難易度や地域の実情、不稼働日等を踏まえた適正な工期を確保するとともに、下請業者も含めて工程管理の徹底を図ります。
- ・現場では週休2日の確保を目指すこととし、土日閉所が可能な現場では、その促進を図ります。
- ・現場条件やその他の理由により週休2日の確保が難しい場合も含めて、現場で働く全ての人が年間トータルでの適正な休暇を取得できるよう努めます。
- ・建設業界全体の意識の醸成のために、国や道・市の発注工事で一体的に行う統一土曜閉所等に、積極的に取り組みます。

1. 令和4年度の実績（週休2日及び年間トータルでの休暇取得の推進）

No.	団体名	単位	取組内容（実績）
1	(一社)札幌建設業協会	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月1日現在の8月末時点で週休2日の導入状況を調査 ・働き方改革に向けた会員企業を対象としたセミナーや相談会等の開催 ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題の解決策などの協議
		会員企業	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会が属する全国組織で「目指せ週休2日+360時間」運動を展開
2	札幌市土木事業協会	会員企業	<ul style="list-style-type: none"> ・週休2日制を今年度より規定とする。また、下請け会社にも協力をお願いして、その経費の上乗せを行う予定 ・原則、週休2日制を実施しているが、冬期間の除排雪時には確保が難しいため、代替休暇を取らせている。残業時間は0時間を目標に取り組んでおり、そのための増員を進めている ・就業時間を携帯アプリ、サーバーで管理する。管理者に情報を共有して就業状況を把握 ・有給休暇を積極的に取るように、会社からの指示を現場担当者に行い、そのための増員を会社として積極的に人員募集に努めている

3	(一社) 札幌中小建設業協会	会員 企業	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働の上限規制に努めるため、月 30 時間の見込み残業制度に取り組んでいる ・都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努力している ・繁忙期での週休 2 日の確保が難しいため、年間トータルで運用している ・通年雇用月給制に移行し、週休 2 日に対応できる労働環境を確保
4	(一社) 北海道舗装事業協会	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・月 3 回の土日連続休日による 4 週 7 休を努力目標に設定し、実施状況を毎月調査
5	札幌会	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間の上限規制や働き方改革に関し研修会を実施
6	札幌建具工業協同組合	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・週休 2 日の導入に向けて現在試験的に実施しており、業務への影響を検証しております
		会員 企業	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内における製品の製作作業に関しては、週休 2 日の導入に努力しておりますが、下請け工事の現場作業に関しましては、主体工事の工程に対応しなければならない為、工事の進捗状況によっては完全週休 2 日を実施する事が困難な場合も発生します
7	(一社) 札幌電設業協会	会員 企業	<ul style="list-style-type: none"> ・現場での工程により土日作業が発生するため、交代で休みを取れるよう人員を多く配置 ・システムによる実態把握、大型案件、特殊案件のフォロー会議の毎月実施 ・土日閉所ができない現場の平日閉所及び現場全休 ・勤怠管理システムにより労働時間の「見える化」 ・クラウド型勤怠管理による適時適切な労働時間管理を実施 ・令和 4 年 4 月から、毎週土・日・祝の完全週休 2 日制と、年次有給休暇の半日単位、1 時間単位取得の導入
8	札幌市管工事業協同組合	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・週休 2 日、年 5 日の年次有給休暇の確実な取得を実施済 (団体)
9	札幌管和会	会員 企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業で取組む予定
10	(一社) 札幌空調衛生工事業協会	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・上部団体 ((一社) 日本空衛協会) が策定した啓蒙パンフレット「週休 2 日を実現し長時間労働を是正 (2019 年)」を会員に配布し、情報提供した (団体)
11	(一社) 建設コンサルタント協会	団体	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施
12	(一社) 北海道設備設計事務所 協会	団体	<ul style="list-style-type: none"> ・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・ノー残業デーの推進 ・テレワークの推進
		会員 企業	<ul style="list-style-type: none"> ・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・有給休暇取得の推進 ・作業の効率化、簡素化を発注者に求めていく

2. 令和5年度の取組予定（週休2日及び年間トータルでの休暇取得の推進）

No.	団体名	単位	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	団体	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年7月1日現在の週休2日の導入状況等を調査予定。 働き方改革に向けた会員企業を対象としたセミナーや相談会等の開催を検討 国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題の解決策などの協議を予定
		会員企業	<ul style="list-style-type: none"> 当協会が属する全国組織で「目指せ週休2日+360時間」運動を展開
2	札幌市土木事業協会	会員企業	<ul style="list-style-type: none"> 週休2日制を今年度より規定とする。また、下請け会社にも協力をお願いして、その経費の上乗せを行う予定～継続 原則、週休2日制を実施しているが、冬期間の除排雪時には確保が難しいため、代替休暇を取らせている。残業時間は0時間を目標に取り組んでおり、そのための増員を進めている～継続 就業時間、代替休暇取得を携帯アプリやサーバーで管理し、管理者に情報を共有して就業状況を把握～継続（会員企業） 有給休暇を積極的に取るように、会社からの指示を現場担当者に行い、そのための増員を会社として積極的に人員募集に努めている～継続（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	会員企業	<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働の上限規制に努めるため、月30時間の見込み残業制度に取組む予定 都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努める予定 繁忙期での週休2日の確保が難しいため、年間トータルで運用する予定 通年雇用月給制に移行し、週休2日に対応できる労働環境を確保する予定
4	(一社)北海道舗装事業協会	団体	<ul style="list-style-type: none"> 月3回の土日連続休日による4週7休を努力目標に設定し、実施状況を毎月調査
5	札幌舗会	団体	<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働時間の上限規制や働き方改革に関し2回目の研修会を実施する予定
6	札幌建具工業協同組合	団体	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より試験的に実施しておりました週休2日制は完全に実施可能でしたので、今後就業規則等の整備を予定しております。又、時間外労働に関しては特別なイベント等（合同安全大会・新年交礼会・親睦会）以外の時間外労働はゼロでした。
		会員企業	<ul style="list-style-type: none"> 1年単位での変形労働時間制とし、1週間当たりの労働時間を40時間以内となる様に労使協定を締結する
7	(一社)札幌電設業協会	会員企業	<p>会員企業による下記の取組実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 週休2日を土日に限定せず、変形労働制で対応 2024年4月より適用となる「時間外労働の上限規制」について、適用準備に向け、2023年度を「上限規制に向けた本番同様の運用（プレ）期間」と位置づけ、「上限規制適用後の36協定での労働時間管理」を実施し、本番同様の労働時間管理を行うことで、現在の働き方・働きかたの見直しを効果的に実施することを予定 令和5年4月1日より完全週休2日制の導入予定 システム導入による、ペーパーレスや業務効率化の検討

8	札幌市管工事業協同組合	団体	・週休2日、年5日の年次有給休暇の確実な取得を実施済(団体)
9	札幌管和会	会員 企業	・会員企業で取組む予定
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	団体	・上部団体(一社)日本空衛協会)が実施する「働き方改革セミナー」に会員の参加(リモート参加が可能)を要請し、情報提供に取り組む予定。(団体)
11	(一社)建設コンサルタンツ協会	団体	下記の取組を継続 ・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施
12	(一社)北海道設備設計事務所 協会	団体	・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・ノー残業デーの推進 ・テレワークの推進
		会員 企業	・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・有給休暇取得の推進 ・作業の効率化、簡素化を発注者に求めていく

【報告 4】 学生等の入職促進及び定着に向けた取組の推進

◆活性化プランの記載内容（3-1-1）

- ・各企業が就職先として選ばれ、就業者の定着や能力発揮につなげるため、働き方改革や就業環境の整備、人材育成等の取組の推進を図ります。

◆活性化プランの記載内容（3-1-2）

- ・学生等の入職促進及び離職防止効果があるインターンシップの実施や、入職希望者に対する見学受入などの取組を推進します。
- ・インターンシップについては、札幌市の助成制度の活用を図るほか、個々の企業での実施が難しい場合については、札幌市や札幌商工会議所が主催するインターンシップ事業や、さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会 の職場体験実習等の各種事業の活用についても考慮します。

1. 令和4年度の取組実績（就業環境の整備）

No.	団体名	取組内容（実績）
1	(一社)札幌建設業協会	・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題のひとつとして労務費などの協議（団体）
2	札幌市土木事業協会	・手軽に相談できる携帯電話アプリでの連絡手段の確立や、外部の人材育成プランに参加を予定(会員企業) ・経営者自らが若手社員と積極的にコミュニケーションを図る場を定期的に設ける(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	下記の取組を継続 ・社員間で仕事の労をねぎらう「サンクスカード」のやり取り(会員企業) ・社内に休憩室を設け、マッサージチェアを置き、安らぎの場とする(会員企業) ・日本ハムの年間シートを2席確保(会員企業)
4	(一社)札幌電設業協会	会員企業による取組 ・給与の適正金額を見直しベースアップを実施 ・諸手当てについて細分化し、意識高く働けるように工夫 ・若手社員のスキルアップの為に色々な技術講習に参加をさせる取組を実施 ・月一ペースで各現場を視察し、相談出来る体制をつくっている ・働き方改革関連社内規程等の新設・改定（就業規則第9条2「ハラスメント防止規程」条項の追加、ハラスメント防止規程の新設、育児・介護休業等に関する規則改定、喫煙規程新設、育児休業等に関する規則（産後パパ育休の創設、育児休業の分割取得）の追加） ・北海道働き方改革推進企業認定（シルバー） ・普段長期休暇の所得が難しい現場作業者に対して、有給休暇が取得しやすいように、長期連休時に併せて「有給休暇取得促進日」を設定し、長期休暇を取得できる体制を整備
5	札幌市管工事業協同組合	・令和4年4月1日から職場におけるパワーハラスメント対策（相談窓口の設置）を実施（団体）
6	札幌管和会	・会員企業で取り組む予定

7	(一社)建設コンサルタンツ協会	下記の取組を継続 ・行政機関への要望活動(担い手確保・育成のための環境整備要望) (団体) ・協会本部に「働き方改革推進特別本部」設置 (団体) ・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施 (団体) ・働き方改革セミナーを開催 (団体) ・ウィークリースタンスを含めた様々な施策の実態調査 (団体) ・えるぼし認定、くるみん認定やダイバーシティー推進等の取組み(講習会など) (団体)
8	札幌市設計同友会	・ノー残業デーの実施 (会員企業) ・有給休暇の取得促進 (会員企業) ・札幌市へ要望書を提出 (団体)

◆補足情報

<えるぼし認定>

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度。

<くるみん認定>

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業の内、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度。

3. 令和5年度の取組予定（就業環境の整備）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題のひとつとして労務費などの協議を予定（団体）
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽に相談できる携帯電話アプリでの連絡手段の確立や、外部の人材育成プランに参加を予定～継続（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・社員間で仕事の労をねぎらう「サンクスカード」のやり取りを継続する予定（会員企業） ・社内に休憩室を設け、マッサージチェアを置き、安らぎの場とする予定（会員企業） ・日本ハムの年間シートを2席確保する予定（会員企業）
4	(一社)北海道舗装事業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者へのアンケート調査を検討（団体）
5	(一社)札幌電設業協会	<p>会員企業による下記の取組実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引続きインターンシップ制度を採用していく予定 ・時間外労働削減の取り組み強化、有給取得率の向上（計画的な取得） ・今年度も引き続き現場の作業環境や若手社員の技術講習への参加と各現場の視察での相談体制に取り組んで行く予定 ・システム導入による、ペーパーレスや業務効率化の検討
6	札幌市管工事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・職場におけるパワーハラスメント対策（相談窓口の設置）を実施済（団体）
7	(一社)建設コンサルタント協会	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関への要望活動（担い手確保・育成のための環境整備要望）（団体） ・協会本部に「働き方改革推進特別本部」設置（団体） ・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施（団体） ・働き方改革セミナーを開催（団体） ・ウィークリースタンスを含めた様々な施策の実態調査（団体） ・えるぼし認定、くるみん認定やダイバーシティー推進等の取組み（講習会など）（団体）
8	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デーの実施（会員企業） ・有給休暇の取得促進（会員企業） ・研修会の開催を予定（団体） ・札幌市へ要望書の提出を予定（団体）

札幌市の建設産業を支援する各種助成制度

さっぽろの 建設産業を

助成金で応援!



手続き
カンタン!

Step 1

申請

Step 2

報告

- ・カンタン2ステップ!
- ・来庁不要(郵送可)!
- ・提出書類は最小限!



女性用トイレ・
更衣室の設置に

最大 **50** 万円

※快通トイレの設置費用が引上されている現場を除く

女性装備品の購入に

1人あたり
最大 **3** 万円

(年度内1企業15万円まで)

インターンシップ受入企業に

2日間
実施の場合

7 万円

(年1回まで)

3日間
実施の場合

10 万円

(年1回まで)



除雪オペレーターの免許取得に

大型特殊
免許の取得

1人あたり
最大

4 万円

サッポロQMSの認証取得企業に

サッポロQMSは、札幌
版の品質マネジメント
システムです

最大 **25** 万円

ICT導入企業に

ICTを活用した施工

50 万円

(年度内1企業1回)

研修等への参加

3 万円

1人1回あたり

(年度内1企業9万円まで)

社内研修等の開催

10人
未満 **3** 万円

1回あたり

(年度内1企業9万円まで)

10人
以上 **6** 万円

1回あたり

令和3年度
新設!

札幌市 建設産業活性化推進事業

1. 令和4年度の実績（人材育成の取組）

No.	団体名	取組内容（実績）
1	（一社）札幌建設業協会	・会員企業の新入社員合同研修会を開催
2	札幌市土木事業協会	・長期、短期の柔軟なインターンシップ受け入れを実施する。また、YouTube チャンネルでの仮想就業体験を計画している（会員企業） ・土木、機械等の資格については会社負担にて講習を受けさせている。ただし、教育訓練給付金対象のみ。（会員企業）
3	（一社）札幌中小建設業協会	・令和4年度事業として「現場技術者研修会」を無観客で録画し、後日、講義内容をファイル化して配信するオンデマンド・リモート研修を実施する（協会）
4	（一社）北海道舗装事業協会	・札幌市や商工会議所などが実施している入職支援事業の情報を会員に情報提供（団体）
5	札幌市除雪事業協会	下記の取組を継続 ・札幌市と連携し若手オペレーターを対象とした除雪機械実技研修会の実施
6	札幌建具工業協同組合	・新型コロナウイルス感染防止対応の為、例年通りの行事を中止せざるをえない状況にあり、今後の活動に関しては未定（団体）
7	（一社）札幌電設業協会	会員企業による取組 ・年齢上位の縦組織を排除し、組織づくりに協力的な社員に対して手当てを勤務設定 ・向上心をもって資格も取得していただくために、資格取得に向けた講習や受験料は全額負担 ・eラーニングの活用 ・フライデースタディ（定期研修）の実施 ・資格取得計画表を作成し組織的に取得サポート ・技術スキルシートで成長の可視化と指導フォロー ・若手社員に向けた三者面談の実施 ・新任管理職研修の実施
8	（一社）北海道造園緑化建設業協会	・4月20日～22日の3日間、若手新人研修会の開催 新入社員を含む若手技術者、8社18名が参加 ・建設業社員としての心構え ・建設現場における基本、仕事の流れ ・若手技術者に求められる基本技術（測量）
9	札幌管和会	・会員企業で取り組む予定
10	札幌塗装工業協同組合	下記の取組を継続 ・会員企業は新卒入職者（高校）並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院（職業訓練校）に入校させ学ばせている。（団体及び会員企業） ・会員企業は組合並びに各種団体が実施する各種技能講習会に参加させている。（団体及び会員企業）
11	（一社）札幌空調衛生工事業協会	・北海道配管設備訓練校の運営協力と助成金支給（27万円）により、配管工養成に努めた ・技術系新入社員研修会を開催（団体） ・技術系ステップアップ研修会を開催（団体） ・施工管理技士の受験講習会を開催し、若手の資格取得促進に寄与した（団体） ・登録基幹配管技能者講習を開催（札幌空衛、日空衛共催）

12	(一社)北海道設備設計事務所協会	<ul style="list-style-type: none"> ・空調衛生工事業協会で実施している、新入社員研修、技術系新入社員研修、ステップアップ研修への参加 ・建築設備士受験講習会の開催及び講師の経験 ・北海道職業能力開発大学校への講師派遣 ・技術情報発表会及びパネル・商品展示会の開催
13	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会では、一級建築士受験サポートとして「受験対策勉強会」を行った。

2. 令和5年度の取組予定（人材育成の取組）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業の新入社員合同研修会を開催予定。
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・長期、短期の柔軟なインターンシップ受け入れを実施する。また、YouTube チャンネルでの仮想就業体験を計画している。～継続（会員企業） ・土木、機械等の資格については会社負担にて講習を受けさせている。ただし、教育訓練給付金対象のみ。～継続（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業として「現場技術者研修会」を集合研修で行うとともに、その内容を録画、ファイル化し、オンデマンド・リモート研修として、後日配信する予定。（協会）
4	(一社)北海道舗装事業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市や商工会議所などが実施している入職支援事業の情報を会員に情報提供（団体）
5	札幌会	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催を予定（団体）
6	札幌市除雪事業協会	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市と連携し若手オペレーターを対象とした除雪機械実技研修会の実施
7	札幌建具工業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・団体では今年度はコロナ以前に実施しておりました講習会等を計画していく予定です。
8	(一社)札幌電設業協会	<p>会員企業による下記の取組実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム導入による、ペーパーレスや業務効率化の検討 ・若い人材を育成していくために、中堅社員へセミナー参加を積極的に行う ・新入社員と近い世代によるマンツーマン研修 ・引続きインターンシップ制度を採用していくと共に、職務内容を纏めた資料を作成予定
9	(一社)北海道造園緑化建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・4月上旬に、会員の若手・新入社員を集めて3日間にわたる研修会を開催予定（団体） <p>【主な研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業社員としての心構え ・建設現場における基本、仕事の流れ ・若手技術者に求められる基本技術（測量）

10	札幌塗装工業協同組合	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業は新卒入職者（高校）並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院（職業訓練校）に入校させ学ばせている。（団体及び会員企業） ・会員企業は組合並びに各種団体が実施する各種技能講習会に参加させている。（団体及び会員企業）
11	(一社)札幌空調衛生工事業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道配管設備訓練校の運営協力と助成金支給(27万円)により、配管工の養成に取組む予定。（団体） ・技術系新入社員研修会の開催に取組む予定。（団体） ・技術系ステップアップ研修会の開催に取組む予定（団体） ・施工管理技士の受験講習会を開催し、若手の資格取得促進に取組む予定。（団体） ・登録基幹配管技能者講習を開催予定（団体）
12	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催を予定（団体）
13	(一社)北海道設備設計事務所協会	<ul style="list-style-type: none"> ・他協会で実施している、新入社員研修、技術系新入社員研修、ステップアップ研修への参加 ・建築設備士受験講習会の開催及び講師の経験 ・札幌市管工事業協同組合「現場代理人実践研修会」への講師派遣 ・北海道職業能力開発大学校への講師派遣 ・技術情報発表会及びパネル・商品展示会の開催
14	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会では、一級建築士受験サポートとして「受験対策勉強会」を継続して実施予定

1. 令和4年度の実績（インターンシップ等の実施）

No.	団体名	取組内容（実績）
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌工業高校の土木科及び保護者を対象とした現場見学会を開催。 北海学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会の札幌市との共催。 北海道札幌工業高校のインターンシップに関する会員企業との仲介。 建青会の「夏休み親子現場見学会」を共催。 「建設産業ふれあい展」にブースを出展。 札商「出張お仕事体験会」に参加。 札子連「おしごと体験会」に参加。
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> 若手だけで取組むイベントに助成を予定。(会員企業) 毎年、札幌工業高校よりインターンシップを受け入れており本年度も継続する。(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 入職促進の取組(インターンシップや見学受入れ)に取組んでいる。(会員企業) 学生が無料で閲覧できるマイナビと契約し、自社のホームページにリンクさせ、会社の福利厚生状況、就職条件、インターンシップの内容 日時も学生に一目で分かる様にし、併せて道内、東北内の各大学の就職担当教授に社長本人が会社案内等を持ってアピールしている。(会員企業)
4	(一社)札幌電設業協会	<p>会員企業による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップ制度を採用 学内企業説明会への参加 学校との関係強化 求人媒体の充実 求人媒体を通してのスカウト、ターゲティング、DM 送付 入社希望者に対して現場見学を実施 外部機関の就職セミナーへの参加
5	(一社)北海道造園緑化建設業協会	<p>【出前講座】(団体)</p> <p>7月1日 北海道大学農学部で実施 学生9名参加</p> <p>7月15日 札幌市立大学で実施 学生40名参加</p> <p>【現場見学会】(団体)</p> <p>8月24日 当別高校を対象に実施 生徒16名参加</p> <p>9月27日 北海道大学農学部を対象に実施 10名参加</p>
6	札幌塗装工業協同組合	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌商工会議所主催のインターンシップ事業等に参画。(団体及び会員企業)
7	札幌市管工事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科1・2年生の「インターンシップ(配管実習及び就業体験)」を実施。なお、就業体験については、組合員各社で学生を受け入れ。(団体) 札幌商工会議所からの依頼で、札幌市内明園中学校及び札幌市市立手稲西中学校にて「出張お仕事体験会(ステンレス管の組立作業)」を実施。(団体) 札幌市主催の「ジモトのシゴト ワク!WORK!」に札幌商工会議所、(一社)札幌空調衛生工事業協会、北海道配管事業協同組合と合同で出展(ステンレス管の組立作業及びCADを用いた配管図の作成等を実施)(団体)

8	札幌管和会	<p>団体で取組を考えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体のインターンシップや職業体験の活動に協力
9	(一社)札幌空調衛生工事業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道職業能力開発大学校に設備施工管理の指導を行う講師を派遣 ・北海道高等技術専門学院設備システム科学生に対する業界説明パンフレットを配布 ・自衛隊任期付自衛官に対する説明会に出席し、空衛業界 PR を行った ・ワク！WORK！学校祭へ参加し、設備業界の仕事内容の説明 ・北海道科学大学建築学科学生を対象としたインターンシップを実施 ・当会機関誌「KIRAMEKI」入職促進記事（学生向け就職案内、若手社員体験談）を説明会等で配布 <p>※すべて団体</p>
10	(一社)建設コンサルタント協会	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道大学の就職担当教授の協力を得て、平成 27 年度より毎年 12 月上旬（年 1 回）、講義の中で、建設コンサルタント業に関する講義を実施している。 ・講義内容は、建コン全般と各分野（道路、構造、河川、防災、情報等）の説明。講師は支部の関連委員や支部会員会社職員が行っている。（団体）
11	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ（会員企業）
12	札幌市測友会	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジモトのシゴト ワク！WORK！」（高校生対象） 参加:9 月 13 日～15 日（3 日間） 場所:つどーむ 内容:トータルステーションの操作体験 体験者数：140 名（3 日間） ・中学校へ出張お仕事体験会 参加:11 月 15 日、11 月 22 日 場所:明園中学校、手稲西中学校 内容:トータルステーションの操作体験 体験者数：202 名（明園中 112 名 手稲西中 90 名） ・「建設産業ふれあい展」 参加:令和 5 年 1 月 7 日 内容:ドローンのシミュレーション体験 体験者数：56 名
13	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会では、インターンシップ受け入れは継続して実施する予定であったが、新型コロナの影響により未実施 ・入職取組の促進として、札幌市立大学と設計事務所でのオンライン交流会を実施し、学生に対し設計事務所の仕事内容の紹介等を行い、学生からの質問に対応した。
14	(一社)北海道設備設計事務所協会	<ul style="list-style-type: none"> ・設備設計とは何かということ PR して行く。そのために工業系高校、北海道立札幌高等技術専門学院、北海道職業能力開発大学校に訪問し、PR して認知度を高めていく ・積極的にインターンシップを受け入れる

2. 令和5年度の取組予定（インターンシップ等の実施）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌工業高校の土木科・建築科及び保護者を対象とした現場見学会を開催予定 北海学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会を札幌市と共催予定 北海道札幌工業高校のインターンシップについて会員企業との仲介を行う予定 建青会の「夏休み親子現場見学会」を共催予定 「建設産業ふれあい展」にブースを出展設置予定 札商「出張お仕事体験会」に参加予定
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> 若手だけで取組むイベントに助成を予定～継続（会員企業） 毎年、札幌工業高校よりインターンシップを受け入れており本年度も継続する～継続（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> 入職促進（インターンシップや見学受入れ）に取組む予定(会員企業) 学生が無料で閲覧できるマイナビと契約し、自社のホームページにリンクさせ、会社の福利厚生状況、就職条件、インターンシップの内容、日時も学生に一目で分かる様にし、併せて道内、東北内の各大学の就職担当教授に社長、専務が会社案内等を持ってアピールする予定（会員企業）
4	(一社)札幌電設業協会	<p>会員企業による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 引続きインターンシップ制度を採用 職務内容を纏めた資料を作成予定 学校への出張授業 スカウティングサービスの利用検討 学内企業説明会への参加 学校との関係強化 求人媒体の充実 求人媒体を通してのスカウト、ターゲティング、DM 送付
5	(一社)北海道造園緑化建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> 7月に市内の2大学（北海道大学、札幌市立大学）の造園・デザイン系学部の学生を対象に、造園の仕事伝える出前講座を予定（団体） 8月～9月に、近郊の農業系高校と北海道大学農学部生等を対象とした工事現場見学会を開催予定（団体）
6	札幌塗装工業協同組合	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌商工会議所主催のインターンシップ事業等に参画（団体及び会員企業）
7	札幌市管工事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科1・2年生の「インターンシップ（配管実習及び就業体験）」を実施予定。なお、就業体験については、組合員各社で学生を受け入れ予定（団体）
8	札幌管和会	<ul style="list-style-type: none"> 他団体のインターンシップや職業体験の活動に協力予定

9	(一社)札幌空調衛生工事業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道職業能力開発大学校に設備施工管理の指導を行う講師派遣の取り組みを継続予定 ・北海道高等技術専門学院設備システム科学生に対する業界説明に取り組む予定 ・自衛隊任期付自衛官に対する空衛業界 PR に取り組む予定。 ・ワク！WORK！学校祭へ参加、設備工事の仕事内容を紹介し空衛業界 PR に取り組む予定 ・北海道科学大学建築学科学生を対象としたインターンシップに取り組む予定 ・当会機関誌「KIRAMEKI」入職促進記事（学生向け就職案内、若手社員体験談）を説明会等で配布 <p>※すべて団体</p>
10	(一社)建設コンサルタント協会	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道大学の就職担当教授の協力を得て、平成 27 年度より毎年 12 月上旬（年 1 回）、講義の中で、建設コンサルタント業に関する講義を実施している ・講義内容は、建コン全般と各分野（道路、構造、河川、防災、情報等）の説明。講師は支部の関連委員や支部会員会社職員が行っている（団体）
11	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ（会員企業）
12	札幌市測友会	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジモトのシゴト ワク！WORK！」 参加予定 日時・場所は未定 ・「建設産業ふれあい展」 参加 R6.1 月予定
13	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会では、インターンシップ受け入れは継続して実施予定
14	(一社)北海道設備設計事務所協会	<ul style="list-style-type: none"> ・設備設計とは何かということを工業系高校、北海道立札幌高等技術専門学院、北海道職業能力開発大学校に訪問し、PR して認知度を高めていく ・積極的にインターンシップを受け入れる

【報告5】若者・女性の横のつながり創出

◆活性化プランの記載内容（3-5-1）

- ・若者や女性の育成に向け、企業の枠を超えた横のつながりの機会を確保するため、若者・女性の活動等との連携推進を図るとともに、建設産業の市内企業に入職した若手就業者を対象とした合同職員研修の開催等の支援策を検討します。
- ・女性の活動団体との連携強化や支援の取組を検討します。【施策 1-2-2】

1. 令和4年度の実績（若者・女性の横のつながり創出）

No.	団体名	取組内容（実績）
1	(一社)札幌建設業協会	・会員企業の新入社員合同研修会を開催
2	札幌市土木事業協会	・外部教育機関を活用して新人教育や交流を促す(会員企業) ・20代、30代の社員だけが参加できるネットワーク(SNS等)を構築して、情報交換の場とする予定(会員企業)
3	(一社)北海道舗装事業協会	・舗装技術に関する研修会を3月と4月に実施(団体)
4	札幌建具工業協同組合	・技能士資格取得者の全体数の底上げの為、技能士の国家試験(特に実技試験)の受験対策として、実際の試験問題の課題と同じ条件での講習会を引き続き実施する予定ではありますが、新型コロナウイルスの感染状況では内容が変更し、対策が必要となるので時期と規模に関しては未定
5	(一社)札幌電設業協会	会員企業による取組 ・組合青年部に加入し、その活動に対しては就業時間内に参加 ・社外の「若手受給社員のためのスキルアップセミナー」(2名参加)や「女性管理職要請セミナー」(2名参加)への参加を実施 ・若年層だけの会議を定期開催
6	(一社)北海道造園緑化建設業協会	・日本造園建設業協会主催の「地域リーダーズ活動」として、全国の造園建設業界を対象にした勉強会、現地見学会、事業活動発表会などが行われており、当協会からも若手を中心に参加し、各地の様々な情報を共有しビジネスチャンスの創出に向けて取組んでいる⇒今年度は、11月に広島県での現場見学会に12名が参加(団体) ・全国都市緑化北海道フェアに、会員企業の若手・女性職員が中心となって、北造協の出展庭園を施工した(6月、コンクールで銀賞受賞)(団体)
7	札幌塗装工業協同組合	・組合青年部会では、会員交流会・家族交流会、技術講習会、経営講習会及びボランティア事業等活発な活動を通じて、若手技能者や若手経営者の技術の向上並びに知識のスキルアップとともに横の連携を図っている
8	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・他団体事業を参考に、来年度の事業計画を検討(団体)
9	(一社)建設コンサルタント協会	下記の取組を継続 ・「北海道支部若手の会」の活動を継続(団体)
10	(一社)北海道設備設計事務所協会	・建築設備技術者協会設備女子会総会後の講演会及び交流会への参加 ・当協会主催及び他協会主催現場見学会への参加 ・会員情報交換会への参加 ・技術情報発表会・パネル展示会・実務担当者懇親会への参加 ・ボーリング大会の実施

2. 令和5年度の取組予定（若者・女性の横のつながり創出）

No.	団体名	取組内容（予定）
1	（一社）札幌建設業協会	・会員企業の新入社員合同研修会を開催予定
2	札幌市土木事業協会	・外部教育機関を活用して新人教育や交流を促す～継続（会員企業）
3	（一社）北海道舗装事業協会	・舗装技術に関する研修拡充を検討（団体）
4	札幌建具工業協同組合	・技能士資格取得者の全体数の底上げの為、技能士の国家試験（特に実技試験）の受験対策として、実際の試験問題の課題と同じ条件での講習会を引き続き実施する予定ではありますが、新型コロナウイルスの感染状況では内容が変更し、対策が必要となるので時期と規模に関しては未定
5	（一社）札幌電設業協会	会員企業による取組 ・少人数での現場単位でのレクリエーションを予定 ・女性スキルアップセミナーや女性管理職向けの社外研修への参加を予定
6	（一社）北海道造園緑化建設業協会	・日本造園建設業協会主催の「地域リーダーズ活動」として、全国の造園建設業界を対象にした勉強会、現地見学会、事業活動発表会などが行われており、当協会からも若手を中心に参加し、各地の様々な情報を共有しビジネスチャンスの創出に向けて取組んでいる。 （団体） ⇒年明けの2月に開催予定
7	札幌塗装工業協同組合	・組合青年部会では、会員交流会・家族交流会、技術講習会、経営講習会及びボランティア事業等活発な活動を通じて、若手技能者や若手経営者の技術の向上並びに知識のスキルアップとともに横の連携を図っている
8	（一社）札幌空調衛生工事業協会	・コロナ禍で実施を見送っていた会員親睦ボーリング大会の開催に取り組む予定（団体）
9	（一社）建設コンサルタント協会	下記の取組を継続 ・「北海道支部若手の会」の活動を継続（団体）
10	（一社）北海道設備設計事務所協会	・他協会主催女子会見学会・講演会・セミナー及び交流会への参加 ・当協会主催の見学会への参加 ・会員情報交換会への参加 ・技術情報発表会・パネル展示会・実務担当者懇親会への参加 ・ボーリング大会への参加

【報告 6】 下請契約の適正化及び技能労働者の処遇改善に向けた取組の実施

◆活性化プランの記載内容（5-4-1）

(1) 下請契約や下請代金支払の適正化の取組

- ・工事の受注者は、品確法や国交省の通知等に基づき、下請契約の締結および適切な代金の支払いなど元請負人と下請負人の間の取引の適正化等に努めます。

(2) 技能労働者の処遇改善の取組

- ・工事の受注者は、品確法や国交省の通知等に基づき、技能労働者の適切な賃金水準の確保を促し、技能労働者の処遇改善を図ることに努めます。
- ・技能労働者の処遇改善とキャリアの見える化を推進するため、建設キャリアアップシステムを活用し、処遇改善や適正な労働時間の管理に努めます。

1. 令和4年度の取組実績（下請契約適正化及び技能労働者処遇改善）

No.	団体名	種類	取組内容（実績）
1	(一社)札幌建設業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業への通知 ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、労務単価など諸課題の解決に向けた協議
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・国や北海道との意見交換会において、建設キャリアアップシステムの登録や普及促進に向けた協議を実施 ・公共工事労務費調査に係る個別相談会を開催
2	札幌市土木事業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> ・外部コンサルティングの情報を活用して、処遇の改善を行う予定(会員企業) ・建設キャリアアップシステムの加入と協力業者へ加入を促進する(会員企業)
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・建設キャリアアップシステム活用による就業管理を行う予定(会員企業) ・建設キャリアアップシステムを導入しているが、協力業者への普及が浸透していないので推進していく(会員企業) ・下請け代金は全て毎月出来高現金支払いを原則として契約している(会員企業)
3	(一社)北海道舗装事業協会	技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・CCUSに関する説明会などの会員への情報提供(団体) ・CCUSでの舗装工に関する能力評価基準の策定を関係機関に要望(団体) ・CCUSモデル工事の舗装工事への適用について、会員企業にアンケート調査を行い、関係機関に要望(団体)
4	札幌建具工業協同組合	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> ・下請け契約に関して、契約書を発行時し、必要事項を明記し、適正な取引に努めております(団体)
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況では費用対効果の面でメリットが少なく、報酬に反映されることがほとんど無い為か、なかなか登録企業や、個人に関する登録も進んでいない状況です。(会員企業)

5	(一社)札幌電設業協会	下請契約等	<p>団体による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業への通知文等は E-mail により周知の徹底を図っている。一部会員は FAX による <p>会員企業による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請け業者へは、文書等で通知 ・e-learning による社内教育実施 (年1回) ・下請事業者に対してヒアリング実施 (不定期) ・多種価格上昇に係る適正価格転嫁への協議実施 (契約業者と都度) ・国土交通省北海道開発局作成の資料「建設業者のための建設業法」(元請下請関係の適正化のための22の鉄則)に基づき資料を作成し社員への情報共有を図るとともに、年度初めに教養を実施 ・見積作成の仕方の講習・現場原価の作成方法等の講習会の実施
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・会社全体での建設キャリアアップシステムに登録を完了しています。新入社員や中途採用社員も随時に登録をしています。各種の色々な資格の取得もさせていて建設キャリアアップのレベルアップをして行く取組を実施 ・建設キャリアアップシステムの活用は無し。 ・技能労働者の処遇改善の取り組みとして、労働組合と協議の上、現場に出たら支給される手当の上限を撤廃し、就業規則を改訂
6	札幌市除雪事業協会	下請契約等	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知文の周知 ・代表者会議、センター長会議を開催し、周知 ・会報により会員に周知
7	札幌塗装工業協同組合	技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・CCUS 企業 ID 取得状況は、81 社中 24 社で取得率 29.6% ・CCUS 個人 ID 取得状況は、塗装技能者 996 人中 214 名で取得率 21,5%となっている (令和4年9月16日現在) ・企業 ID 及び個人 ID の取得については推進する (団体及び会員企業)
8	札幌市管工事業協同組合	下請契約等	・組合員へ通知文の周知 (団体)
		技能労働者の処遇改善	・組合員へ通知文の周知 (団体)
9	(一社)札幌空調衛生工事業協会	下請契約等	・北海道、札幌市からの関連通知等を迅速に会員企業にメール配信 (団体)
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・建設キャリアアップシステムに関して会員企業の ID 取得状況調査を実施 (団体) ・当会に関連する技能者団体会員について「働き方改革、技能者の生産性低下要因」等に関するアンケート調査実施、両団体が抱える課題把握と課題解決に向けた意見交換会を開催 (団体)
10	(一社)建設コンサルタント協会	下請契約等	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部会員のコンプライアンス遵守を目的として、倫理および法令遵守に関わるテーマを取り上げ、毎年1回研修会を開催 (団体)
11	(一社)北海道設備設計事務所協会	下請契約等	・下請契約や下請代金は適正に対処しているが、設備改修設計に含まれる建築設計の金額が合わない場合があり、改善を発注者に要望したい

2. 令和5年度の取組予定（下請契約適正化及び技能労働者処遇改善）

No.	団体名	種類	取組内容（予定）
1	(一社)札幌建設業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業への通知 ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、労務単価など諸課題の解決に向けた協議を予定
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・国や北海道との意見交換会において、建設キャリアアップシステムの普及促進に向けた協議を予定 ・公共工事労務費調査に係る説明会への参画や個別相談会の開催を検討
2	札幌市土木事業協会	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> ・外部コンサルティングの情報を活用して、処遇の改善を行う予定～継続（会員企業） ・建設キャリアアップシステムの加入と協力業者へ加入を促進する。～継続（会員企業）
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・建設キャリアアップシステム活用による就業管理を行う予定～継続（会員企業） ・建設キャリアアップシステムを導入しているが、協力業者への普及が浸透していないので推進していく～継続（会員企業） ・下請け代金は全て毎月出来高現金支払いを原則として契約している～継続（会員企業）
3	(一社)北海道舗装事業協会	技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・CCUS に関する説明会などの情報を会員企業に提供(団体) ・CCUS の舗装工に関する基準策定やモデル工事の舗装工事への適用について、関係機関に要望(団体)
4	札幌建具工業協同組合	下請契約等	<ul style="list-style-type: none"> ・下請け契約に関して、契約書を発行時し、必要事項を明記し、適正な取引に努めております(団体)
		技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況では費用対効果の面でメリットが少なく、報酬に反映されることがほとんど無い為か、なかなか登録企業や、個人に関する登録も進んでいない状況です(会員企業)
5	(一社)札幌電設業協会	下請契約等	<p>会員企業による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より細かく理解していくために、説明会の開催も検討 ・情報共有及び意見交換の頻度向上を目的に主要協力会社（下請会社）との協力会を設立 ・e-learning による社内教育実施（年1回） ・下請事業者に対してヒアリング実施（不定期） ・多種価格上昇に係る適正価格転嫁への協議実施（契約業者と都度） ・国土交通省北海道開発局作成の資料「建設業者のための建設業法」（元請下請関係の適正化のための22の鉄則）に基づき資料を作成し社員への情報共有を図るとともに、年度初めに教養を実施 ・見積作成の仕方の講習・現場原価の作成方法等の講習会の実施
		技能労働者の処遇改善	<p>会員企業による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップシステムを導入している企業、導入を検討している企業がいる ・会社全体での資格の取得を奨励して建設キャリアアップのレベルアップをして行く取り組みを予定 ・「建設キャリアアップシステム」活用の予定はない

6	札幌市除雪事業協会	下請契約等	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通知文の周知 ・ 代表者懇談会、道路維持担当者会議、除雪センター長会議を開催し、周知 ・ 会報により会員に周知
7	札幌塗装工業協同組合	技能労働者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規学卒者（高校）の集団求人を推進（団体） * 集団求人：組合加入の会員が組合と勤務条件、労働環境、福利厚生、訓練校入学等について協定し、その条件を会員が遵守するとともに、組合はハローワークに対し会員が提出した求人票の諸条件についてその保証を確約する求人方式 ・ 企業 ID 及び個人 ID の取得について推進（団体及び会員企業）
8	札幌市管工事業協同組合	下請契約等	・ 組合員へ通知文を周知（団体）
		技能労働者の処遇改善	・ 組合員へ通知文を周知（団体）
9	(一社)札幌空調衛生工事業協会	下請契約等	・ 北海道、札幌市からの関連通知等を迅速に会員企業にメール配信し、周知を図る予定（団体）
		技能労働者の処遇改善	・ 建設キャリアアップシステムに関して会員企業の ID 取得状況の把握に取り組む予定（団体）
10	(一社)建設コンサルタンツ協会	下請契約等	<p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部会員のコンプライアンス遵守を目的として、倫理および法令遵守に関わるテーマを取り上げ、毎年 1 回研修会を開催（団体）
11	(一社)北海道設備設計事務所協会	下請契約等	・ 下請契約や下請代金は適正に対処しているが、設備改修設計に含まれる建築設計の金額が合わない場合があり、改善を発注者に要望したい